

令和8年度 岡山県立中学校及び岡山県立中等教育学校
適性検査Ⅰのねらい等について

1 適性検査Ⅰのねらい

身のまわりの事象や自然の現象等を題材として、「知識及び技能」や「思考力、判断力、表現力等」など、小学校等の教育において身に付けている総合的な力をみる。

2 課題ごとのねらい

課題 1

日常の事象における問題解決の過程の中で、数学的な見方・考え方や理科の見方・考え方を働かせ、必要な情報を捉え、選択・活用しながら課題を解決する力をみる。

設問（1）乾電池のつなぎ方に関する知識を基に、条件に即して回路図を表現することができるかをみる。

設問（2）暗号の規則性を見だし、条件に即して表現することができるかをみる。

設問（3）目的に応じて問題場面の数量関係に着目し、問題を数理的に処理することができるかをみる。

課題 2

日常生活で見られる事物・現象に疑問をもち、図や表を活用しながら、既習事項や実験結果と結び付けて考察する力をみる。

設問（1）①②時間の経過による太陽と月の位置関係の変化から、地球から見える月の形や位置を判断することができるかをみる。

設問（2）水の蒸発についての仮説に対して、実験結果の数値を基に仮説の真偽を考察し、説明することができるかをみる。

設問（3）①1つの棒を水平につり合わせるために、力を加える位置や力の大きさの関係性に基づいて、適切な言葉を用いて表現することができるかをみる。

設問（3）②糸でつながった2つの棒を同時に水平につり合わせるために、この規則性に基づいて、条件に応じた方法を考えることができるかをみる。

課題 3

日常の事象について既習の知識を活用し、グラフの読み取りに関する理解や問題場面の条件に即して処理をしたり、立体図形を多面的に見て問題解決をしたりする力をみる。

設問（1）グラフを読み取り、その正誤を判断した理由を説明できるかをみる。

設問（2）問題場面の数量関係や条件等に着目し、問題を数理的に処理することができるかをみる。

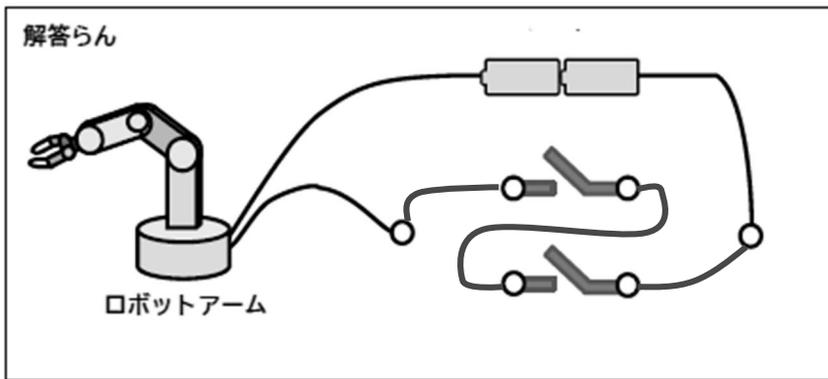
設問（3）①②立体図形を様々な方向から見たり、回転させたりして空間認知能力を働かせながら、整理して表現することができるかをみる。

3 満点

70点満点

【課題1】

(1)



(2) (あ) MOMO24

(3) 説明 日ごと生産台数を1としたとき、A社の1時間あたりの生産台数は、

$$\frac{1}{15} + \frac{1}{10} = \frac{1}{6} \text{ となる。}$$

工場アとイが協力して日ごと生産台数を組み立てるためにかかる時間は、

$$1 \div \frac{1}{6} = 6 \text{ より6時間とわかる。}$$

1時間に2つの工場を組み立てることのできる自動車は100台なので、 $100 \times 6 = 600$ から日ごと生産台数は600台である。

600 台

【課題2】

(1) ① ア ② ク

(2) イ

説明 AとCを比かくすると、36時間後までの12時間ごとに、どちらも水が1.3gずつ減少しているから。

(3) ① ア

説明 てこをかたむけるはたらきは、「力の大きさ×支点からのきより」で表すことができるので、支点からのきよりが短い皿2にのせるおもりを重くしなければならないから。

② 10gのおもりは最低(6)個必要。100gのおもりは皿(1)に、50gのおもりは皿(2)にのせる。

【課題3】

(1) 記号 イ

説明 グラフは5・6年生を合わせたグラフなので、5・6年生のそれぞれで、プリンを選んだ人が最も多いかどうかはわからないから。

(2) 本数 29本

代金 3,915円

(3) ① 6だけが見える立方体 2個
6と5だけが見える立方体 8個
6と5と4だけが見える立方体 8個

② 説明 1～6の和は21

6だけ見える立方体は9個、 $(21-6) \times 9 = 135$

6と5だけ見える立方体は13個、 $(21-11) \times 13 = 130$

6と5と4だけ見える立方体は3個、 $(21-15) \times 3 = 18$

2～6が見える立方体は1個、 $(21-20) \times 1 = 1$

すべての面が見えない立方体は2個、 $21 \times 2 = 42$

それらの合計は、 $135+130+18+1+42=326$

合計 326